



# 12月号 ほけんだより

令和3年12月 病児・病後児保育室「いよっこすまいる」

今年も残すところあと1か月。寒さも少し厳しくなり、インフルエンザや感染症など心配な季節です。体調管理に気を付けて、年末年始を元気に過ごしましょう。

## こども医療でんわ #8000番

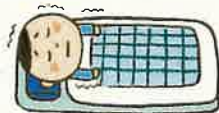
夜間や休日に生じた、心配な症状やけがなど受診の目安を小児科医・看護師に相談できます。かけると各都道府県の相談窓口へ転送されます。都道府県により実施時間が異なります。厚生労働省のホームページで確認を。

## 心配なインフルエンザ脳症

インフルエンザの合併症で特に気をつけたいのがインフルエンザ脳症。特に0、1、2歳児は発症しやすく、後遺症が残ったり、重症化すると命を落としたりすることもあります。万が一、下のような症状が見られたら、すぐに救急車を呼んでください。

### こんな症状は脳症かも？

- インフルエンザを発症して1～2日後に突然高熱が出る。
- けいれんが10分以上続く
- けいれんを繰り返す
- 呼びかけても反応しない、ぼーっとしている、目がうつろである
- ずっと寝続けている



## けいれんを起こしたときの対応

「けいれん」と「ひきつけ」は同じことで、全身や体の一部の筋肉が発作的に収縮して起こります。原因はさまざまですが、熱が出たときに起こる「熱性けいれん」や大泣きをしたときに起こる「泣き入りひきつけ」などがあります。

### 応急処置

- ① けいれんを起こしている時間を計る。
  - ② 顔を横向きにして、衣服を緩める。
  - ③ 身体のどの部分を動かしたか、手足は突っ張ったかなど、詳しく観察する。
- ※身体を揺らしたり、口に物を入れたりしないようにしましょう。

### こんなときはすぐ病院へ!!

- \*5分以上けいれんが続く
  - \*意識や反応がない
  - \*頭を打った後のけいれん
  - \*何度もおう吐する
  - \*てんかんを持っている
- (熱がないのにけいれんする)
- \* 体温が38度以上(熱性けいれん)

こんな病気が見られます。

- ◆上気道炎(咽頭炎・喉頭炎・急性鼻炎含む)
- ◆ヘルパンギーナ
- ◆感冒

## 異物を飲んだ(誤嚥と誤飲)

【誤嚥】飲み込んだものが気管に入る、詰まる。

【誤飲】飲んではいけないものを飲み込む。

誤嚥すると呼吸困難に陥り、窒息して命を失うことも。

誤飲すると飲んだものが消化器に入り中毒症状を起こす心配

があり、最悪は命を失うこともあります。

【誤嚥・窒息しそうなものは与えない】 ナッツや豆類・ぶどう・プチトマト・あめ・かみ砕きにくいグミ・餅・団子など。

【39mm以下のものに注意!】

ラップやトイレットペーパーの芯がこのサイズ。これより小さな物はすべて誤飲する可能性があると考え、手が届く場所には置かない。

### 【すぐに行くこと】

《のどに詰まらせていそうな呼吸・様子のとき》

1歳以下はうつ伏せで股に手を通して顎を持ち、体と顎を固定。肩甲骨の間を手の付け根で4・5回たたたく。1歳以上は立て膝をつき、うつ伏せにした子どものみそおちを膝で圧迫。1歳以下と同じように肩甲骨の間を手の付け根で4・5回たたたく。

### 【すぐに救急車!】

呼吸困難・呼吸していない、ひきつけ・けいれんしている、顔色が悪い。毒性の強い物(殺虫剤・タバコ・薬・ボタン電池・ネズミ駆除剤等)を飲んだ。その場合、無理に吐かせないことが基本。誤飲した物・個数・場所・時間など病院で伝えましょう。

